



りんご特報 No.8

令和 7 年 8 月 1 日
J A 中野市園芸課
J A 中野市りんご・もも部会

ハダニ類の発生が増加中です。シンクイムシ類、カイガラムシ類なども含めて害虫の発生状況に注意し、防除を徹底して下さい。また、高温・干ばつが続いています。かん水の実施、樹冠下マルチ（敷きわら等）、草刈りは長めに残す等、高温対策を講じて下さい。（詳細は特報No.7 参照）

【第 11 回 定期散布】＊散布時期は目安です。

【定期散布】散布日

____ 月 ____ 日 (____)

散布量

____ ℓ

散布時期	8/12～8/18	＊前回から 14 日以内															
散布薬剤	<table><tr><td>水</td><td>100ℓ 当たり</td><td></td></tr><tr><td>展着剤（ハイテンパワー）</td><td>10ml</td><td></td></tr><tr><td>ナリアWDG</td><td>50g</td><td>（前日、3回）</td></tr><tr><td>劇バリアード顆粒水和剤</td><td>50g</td><td>（前日、3回）</td></tr><tr><td>オマイト水和剤</td><td>133g</td><td>（3日前、1回）</td></tr></table>		水	100ℓ 当たり		展着剤（ハイテンパワー）	10ml		ナリアWDG	50g	（前日、3回）	劇バリアード顆粒水和剤	50g	（前日、3回）	オマイト水和剤	133g	（3日前、1回）
水	100ℓ 当たり																
展着剤（ハイテンパワー）	10ml																
ナリアWDG	50g	（前日、3回）															
劇バリアード顆粒水和剤	50g	（前日、3回）															
オマイト水和剤	133g	（3日前、1回）															
対象病害虫	輪紋病、炭疽病、斑点落葉病、黒星病、褐斑病、すす斑病、すす点病 シンクイムシ類、カメムシ類、ハダニ類、リンゴワタムシ （キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ、コナカイガラムシ類）																
散布量	600ℓ / 10a																
注意事項	【ドリフト注意】 オマイト水和剤は、ナシ類に登録がないため飛散しないよう注意する。																

【シナノリップ出荷揃会の開催について】

- ・ 8月6日（水）午後1時30分 南部共選所
 - ・ 8月7日（木）午後1時30分 平岡共選所
- 内容：出荷方法・出荷規格、収穫基準・生育状況他

【ひょう害果実の集荷について】

目揃会当日、ひょう害果の持込み基準・集荷方法について、ご説明致します。

【早生種 収穫前管理について】

①徒長枝切りや枝つり、支柱立てを早めに行い樹冠内部への光の導入を図る。

②葉摘み：収穫の7日前位（8/15 前後）から始める

早期に実施したり一度に強い葉摘みを行うと、日焼け果の発生を助長するので注意する。

③玉回し：果実が30%程度着色したら1回目実施 ⇒ 収穫直前頃の葉摘みと併せて2回目実施。

④直射日光の当たる果実は、葉摘み・玉回しを実施しない。

次面もご覧ください。（つがる落果防止剤 ハダニ対策 他）

つがる 【落果防止剤】の散布について】単用散布

* 散布時期は目安です。生育状況により前後する可能性があります。

【散布日】

____月 ____日(____)

散布量

_____ℓ

散布時期	8/5～10 頃 *収穫開始予定の 15 日前に 1 回散布
散布薬剤	水 100ℓ 当たり ストッポール液剤 100ml (収穫予定の 25～7 日前、2 回以内)
散布量	500～600ℓ / 10a
注意事項	①展着剤は加用しない。単用散布を厳守する。⇒ 他剤と混用しない。 ②乾燥条件下では効果が低減するので、定期的なかん水を行い、園地内の湿度を上げる等の対策を図る。 ③他品目、特に野菜等に飛散しないように注意する。 ⇒ 生育障害・薬害発生の恐れあり ④落果防止剤を散布すると熟度が早まり、果肉軟化を助長しやすいので、過熟果発生に注意して収穫を進める。 ⑤シナノリップに飛散すると果肉軟化が早まり、着色や食味、日持ち性が劣るため散布の際は注意する。

薬剤散布の際は、隣接園に薬剤が飛散しないよう十分注意して下さい

【ハダニ対策】について (①、②、③を組み合わせると、防除効果が高い)

①定期散布間に速効性の殺ダニ剤を特別散布し、密度を低下させる。

薬剤名	効果	倍率	登録内容	単価/500ml	展着剤
コロマイト乳剤	卵～成虫 残効短い	1,000 倍	前日、1 回	4,840 円	スカッシュ or ハイテンパワー
アカリタッチ乳剤	成虫のみ 残効無し	3,000 倍	前日、一	4,400 円	不要

* 散布量を増やし、樹全体に万遍なく散布して下さい。

②次回の定期散布を「2～3 日前倒し」散布する。

③下草刈りは、やや長めに残す。

* 多発園地は、今後の葉の光合成促進のため、オルガミン（1000～2000 倍）や葉友（2000 倍）などの葉面散布を定期散布に混用散布して下さい。（* 最終防除まで）

問合せ先：園芸課 23-3933

次回発行予定 8/15